

このページでは、「いっしょに！ OSAKINI プロジェクト」と題して、
2021年4月に設立された大崎町SDGs推進協議会
(参画団体：大崎町、鹿児島相互信用金庫、株式会社そらのまち、
株式会社南日本放送、有限会社そおりサイクルセンター、合作株式会社)
の活動をご紹介します。

いっしょに

OSAKINI PROJECT

VOL. 21

みなさん、こんにちは！ あっという間の3月ですね。
この時期といえば卒業、進学、転勤など新しい生活への準備に追われている方も多いかもかもしれません。ワクワクしながら待ち遠しさや寂しさも感じますよね。もちろん変化がなくても新年度を前にしっかりと気持ちを整えていきたいなとは私は思っています。あせらず、深呼吸しながら日々を過ごしていきましょうね。
さて今月はこのような内容でお伝えします！



中垣るる (なかがき るる)
事務局 広報/PR担当
所属：合作株式会社

菱田小学校でお試し授業を実施しました

2月8日(水)、菱田小学校の5年生と一緒に授業を実施しました。この授業は、先月の広報紙でもご紹介した、半年間かけて町内の小中学校の先生方と作り上げてきたガイドブックに載っている授業を、実践してみようという取り組みです。

まずは校庭で、生ごみが燃えるかどうかを実験。先生が食べ残しを紙で包んで燃やすと、水分量の多い生ごみだけが残り、その燃えにくさに子どもたちも驚いた様子でした。

その後、ゲストティーチャーの大崎町役場住民環境課長の松元さんの話を聞き、生ごみを燃やすのに比べて、大崎町のように堆肥化することで温室効果ガスの排出量が約40%削減される(*)ということを学びました。

また、20年以上リサイクルを続けてきた背景を聞きながら、子どもたちは、先人たちの選択が現在につながっていることを実感することができたようです。授業の終わりには「これからも分別をがんばりたい」「安心・安全に大崎町に暮らし続けるために、リサイクルがどうしても大切なのかが分かった」と話していました。

これからも、大崎町内の先生や子どもたちが地域の取り組みや環境問題にさらに関心を持ち、前向きに取り組んでくれると私たちも嬉しく思います。

(*) 国立環境研究所の河井先生による2021年度の調査による

